

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成28年2月4日 (2016.2.4)

【公開番号】特開2014-171787(P2014-171787A)
 【公開日】平成26年9月22日 (2014.9.22)
 【年通号数】公開・登録公報2014-051
 【出願番号】特願2013-49001(P2013-49001)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 5 Z

【手続補正書】

【提出日】平成27年12月14日 (2015.12.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技者にとって有利な特別遊技状態を発生させる遊技機であって、
 前記特別遊技状態を発生させるか否かを、前記特別遊技状態を発生させる以前に決定する事前決定手段と、

前記特別遊技状態となる可能性を予告する第 1 予告演出パターンと第 2 予告演出パターンを含む複数の予告演出パターンからなる予告演出表示態様を記憶する予告演出表示態様記憶手段と、

前記事前決定手段にて前記特別遊技状態を発生させると決定された際、前記予告演出表示態様記憶手段に記憶されている前記予告演出表示態様のうち前記第 1 予告演出パターンより前記第 2 予告演出パターンを高い割合で実行する第 1 予告演出実行手段と、

前記事前決定手段にて前記特別遊技状態を発生させると決定された際、前記第 1 予告演出実行手段にて実行された予告演出パターンと異なる種類の予告演出パターンを実行するより高い割合で、前記第 1 予告演出実行手段にて実行された予告演出パターンと同じ種類の予告演出パターンを実行する第 2 予告演出実行手段とを有し、

前記第 1 予告演出実行手段にて前記予告演出表示態様記憶手段に記憶されている前記予告演出表示態様のうちいずれかの予告演出パターンが実行され、その後、前記第 2 予告演出実行手段にて前記予告演出表示態様記憶手段に記憶されている前記予告演出表示態様のうちいずれかの予告演出パターンが実行されてなることを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

請求項 1 の発明に係る遊技機によれば、遊技者にとって有利な特別遊技状態を発生させる遊技機であって、

前記特別遊技状態を発生させるか否かを、前記特別遊技状態を発生させる以前に決定する事前決定手段（ステップ S 1 0 8）と、

前記特別遊技状態となる可能性を予告する第1予告演出パターンと第2予告演出パターンを含む複数の予告演出パターンからなる予告演出表示態様を記憶する予告演出表示態様記憶手段（演出制御ROM901）と、

前記事前決定手段（ステップS108）にて前記特別遊技状態を発生させると決定された際、前記予告演出表示態様記憶手段（演出制御ROM901）に記憶されている前記予告演出表示態様のうち前記第1予告演出パターンより前記第2予告演出パターンを高い割合で実行する第1予告演出実行手段（ステップS210）と、

前記事前決定手段（ステップS108）にて前記特別遊技状態を発生させると決定された際、前記第1予告演出実行手段（ステップS210）にて実行された予告演出パターンと異なる種類の予告演出パターンを実行するより高い割合で、前記第1予告演出実行手段（ステップS210）にて実行された予告演出パターンと同じ種類の予告演出パターンを実行する第2予告演出実行手段（ステップS210）とを有し、

前記第1予告演出実行手段（ステップS210）にて前記予告演出表示態様記憶手段（演出制御ROM901）に記憶されている前記予告演出表示態様のうちいずれかの予告演出パターンが実行され、その後、前記第2予告演出実行手段（ステップS210）にて前記予告演出表示態様記憶手段（演出制御ROM901）に記憶されている前記予告演出表示態様のうちいずれかの予告演出パターンが実行されてなることを特徴としている。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

しかしながら、このような遊技機は、リーチ演出によって大当たりとなるかならないかの予告演出を行っても、遊技者が大当たりへの期待感を大きく損ねてしまうという問題があった。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

そこで本発明は、上記問題に鑑み、遊技者の大当たりへの期待感を損ねることなく維持することができる遊技機を提供することを目的としている。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明によれば、遊技者の大当たりへの期待感を損ねることなく維持することができる。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 2 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 2 0 2】

1	パチンコ遊技機
4 1	液晶表示装置
4 2	特別図柄始動口
4 2 a	特別図柄始動口スイッチ
9 0 1	演出制御 R O M (予告演出表示態様記憶手段)
T B L 1	予告演出振り分けテーブル
T B L 1 0	前半予告演出振り分けテーブル
T B L 1 1	後半予告演出振り分けテーブル
N D _ C N T	予告演出乱数カウンタ
F N D _ C N T	前半予告演出乱数カウンタ
S N D _ C N T	後半予告演出乱数カウンタ